

未来へ向けて  
美馬市の  
まちづくり





# 一人ひとりの市民が健康で生き生きと暮らせるまちづくり ● 社会教育

ほくたちの美馬市には、貴重な歴史や文化がある。こうした文化を守り育てるために、どんな仕事が行われているのだろうか。その文化の発表の場所「美馬市文化祭」にも行ってみました。

**Q** 美馬市の文化を守り育てる仕事と  
いうと、どんなことを行っているのですか？

**A** 美馬市教育委員会の中に生涯学習課という課があり、そこで特色ある文化のまちづくりを進めるために、さまざまな事業を行っています。

平成18年度の主要施策は、生涯学習の推進、人権教育の推進、文化の振興と文化財の保護、青少年健全育成の充実、国民文化祭の開催準備という5つです。

平成19年の秋に開催される第22回国民文化祭で美馬市が能楽の祭典と映像フェスティバルの2事業を主催するので、そのための準備も行っているのです。ちなみに、スポーツ関係は体育振興課が行い、地域のスポーツ文化向上をめざして生涯スポーツを推進し、健康的、文化的な生活環境の提供に努めています。

**Q** 文化の振興と文化財の保護という  
と、具体的にどんな仕事をするのですか？  
**A** 美馬市には文化協会というのがあ

りますが、その活動のお手伝いや文化活動の発表の場となる文化祭に関わる仕事などを行い、地域文化の振興と文化意識を高める取り組みを行っています。また、重要伝統的建造物群保存対策事業や史跡整備事業を行い、美馬市の文化財の保護や活用を図っています。

**Q** 生涯学習の取り組みについても教えてください。

**A** 生涯学習活動を支援するために脇町図書館、穴吹図書館の事業を充実さ



文化祭開会式

せています。また、市内の脇町、猪尻、美馬、穴吹、川井、谷口の各公民館で、藍染め、三味線、コーラス、英会話、墨絵、詩吟、写真、カラオケ、太鼓などの文化教室が開催されていますが、その支援なども行っています。

〔特派員コメント〕

美馬市には先人が築いたすばらしい文化がたくさんあり、また、今も住む人々がそれぞれに誇り文化を学び育てていることを知りました。文化祭に展示された作品の数々、そのレベルの高さにびっくり。みなさん、努力を重ねているんですね。ほくたちも負けずに文化人になるぞ。

Column <コラム>

美馬市文化協会



美馬市文化協会は平成17年10月に発足し、107団体、のべ会員数1941名の登録があります(平成18年11月現在)。

その発表の場の一つが文化祭。例えば長江頌石先生、青木東原幹事長率いる書道部会は、線美会、趣味の会、江原教育集会所の3グループが出演。見事な作品を披露しました。また、当日はお茶席も用意され、

大勢の人が美馬市の文化の香りを楽しみました。



文化祭 体験教室